

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

| | |
|--------------------|---|
| 研究課題名 | 大腸切除病理標本を用いた腸管壁厚の解析 |
| 研究機関名 | 愛媛大学医学部 消化管・腫瘍外科 |
| 試料・情報の提供を行う研究機関の長 | 愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者) |
| 研究責任者 (個人情報管理者) | 消化管・腫瘍外科 助教 大木悠輔 |
| 研究期間 | 研究機関の長の許可日 ~ 2026年12月31日 |
| 対象 | 2017年1月から2023年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち大腸切除術が必要と診断された患者さん |
| 利用する試料・情報等 | (利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等 (利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料 (病理検体・血液・細胞など) |
| 研究の概要 | 近年、消化器外科領域では低侵襲手術を目的とした腹腔鏡手術が普及しています。患者さんそれぞれで腸管の厚みが違いますが、それを総合的に調べた研究はありません。今回、患者さんごとの腸管の厚みを調べることを目的としています。既往歴などと切除した大腸を用いて腸管の厚みの相関関係を明らかにします。 |
| 個人情報の取扱い | 収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として |

| | |
|---------|--|
| | 倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。 |
| お問い合わせ先 | 愛媛大学医学部 消化管・腫瘍外科 大木悠輔 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5975 |